

平成30年産水稻の出穂状況について（7月30日現在）

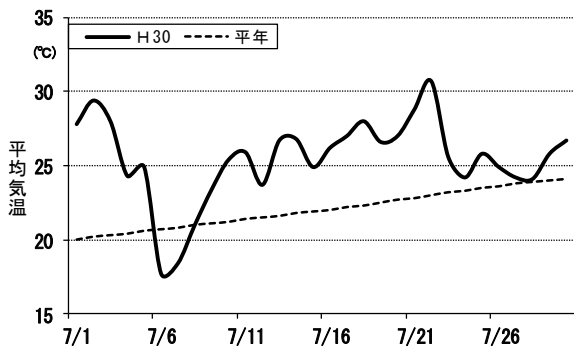
1 出穂状況等（概況及び今後の管理）

- 7月30日現在、18,482ha（水稻作付見込面積の28.7%）で出穂が確認され、本年の出穂始期（県作付見込面積の5%で出穂）は、7月28日となり、平年より4日程度早まっている。
- 出穂期の水管理は浅水管理とする。なお、出穂後に最高気温や夜温が高い状態が続くと、稲体の消耗による登熟不良や白未熟粒の発生等により品質低下が懸念され、また、出穂後10日間の最高気温が高いほど、胴割粒の発生が多くなる傾向にある。そのため、出穂後高温時の水管理としては「昼間深水・夜間落水管理」※、または用水の確保が難しい状況においては「走水等により土壌を常に湿润状態に保つ水管理」を行うよう指導している。
- 出穂時期が平年より早まっていることから、斑点米カメムシ類の防除時期が遅れないよう注意し、「穂揃期」と「その7～10日後」の2回防除を基本として実施するよう指導している。

※晴天等の高温時において昼間はできるだけ深水とし、夜間は逆に落水管理とする水管理の方法。

2 具体的データ

(1) 平均気温の推移（仙台アメダス）



(2) 旬別の気象データ（仙台アメダス）

	平均気温(°C)		降水量の合計(mm)		日照時間(時間)	
	平年差	平年比	平年比	平年比		
5月	17.0	2.0	102.5	93%	183.6	99%
6月	20.3	1.8	100.5	69%	173.2	129%
7月上旬	24.0	3.4	48.5	79%	49.9	145%
中旬	26.3	4.3	6.0	9%	54.5	155%

(3) 地方振興事務所・地域事務所別及び地帯区分別出穂状況

①地方振興事務所・地域事務所別

地区名	水稻作付見込面積(ha)	7月30日現在出穂状況			進行月日			(参考)平成29年度		
		出穂面積(ha)	進行率(%)	出穂始期	出穂期	穂揃期	出穂始期	出穂期	穂揃期	
大原	6,707	4,170	62.2	7/25	7/28	—	7/26	7/29	8/10	
仙台	12,218	3,811	31.2	7/28	—	—	7/29	8/3	8/10	
大崎	18,174	4,190	23.1	7/29	—	—	7/28	8/1	8/10	
栗原	9,083	2,559	28.2	7/27	—	—	7/29	8/1	8/13	
登米	9,905	2,486	25.1	7/29	—	—	7/29	8/1	8/6	
石巻	7,458	1,266	17.0	7/29	—	—	7/29	8/2	8/19	
気仙沼	910	0	0.0	—	—	—	8/2	8/7	8/15	
県計	64,455	18,482	28.7	7/28	—	—	7/29	8/1	8/11	

②地帯区分別

地帯区分	水稻作付見込面積(ha)	7月30日現在出穂状況	
		出穂面積(ha)	進行率(%)
山間高冷	976	88	9.0
西部丘陵	5,388	962	17.9
北部平坦	42,546	10,578	24.9
南部平坦	5,384	3,694	68.6
三陸沿岸	1,567	5	0.3
仙台湾沿岸	8,595	3,155	36.7
県計	64,455	18,482	28.7

※出穂始期、出穂期、穂揃期は、それぞれ水稻作付見込面積の5%、50%、95%以上が出穂した日である。

※平成30年作付見込面積は、農産環境課でとりまとめた主食米の作付見込面積を用いた。

(4) 出穂時期の比較

区分	出穂始期(5%)	出穂期(50%)	穂揃期(95%)
本年	7月28日	—	—
前年	7月29日	8月1日	8月11日
平年	8月1日	8月4日	8月11日
平年差	4日早い	—	—

※平年値は平成20～29年の10か年のうち最も早い年と最も遅い年を除いた8か年の平均値を用いた。

※次回は、8月2日現在の出穂状況を8月3日発表予定です。